

あつまれ！未来の消防団員

大災害時において消防団の活躍が期待されている一方で、団員の確保が課題となっております。そこで、多くの住民が集まる健康福祉フェアで、消防団のPRを行いました。「消防団員体験コーナー」として、法被を着ての記念撮影、消防車乗車、水消火器訓練、ハケツリレーを体験してもらいました。子どもたちや親子連れに大人気で順番待ちができ、法被を着た姿に、「カワイイ」「カッコイイ」と歓声があがっていました。消防団に親しみをもってもらい、大きくなったなら消防団員として活躍してくれることを期待しています。



▲みんなとても似合ってます

播磨町消防団 田中廣治団長 兵庫県功労賞を受賞



永年にわたり、地域の消防力の強化に尽くした功労により、播磨町消防団、田中廣治団長が、兵庫県功労賞を受賞されました。田中団長は、神戸市消防局で40年の長きにわたり消防吏員として活躍された後も、その経験を活かし、播磨町消防団長として、町の消防活動に尽力されています。その功労が認められての受賞となりました。表彰式典は、5月19日に兵庫県公館で行われ、井戸兵庫県知事より賞状と銀杯が授与されました。

瑞宝双光章 大辻國夫さん(大中)



大辻さんは、加古川市や播磨町の小・中学校などで勤務し、小・中学校長を含め33年間勤めた後、播磨町教育長に就任されました。教職時代、「褒めて育てる」を信条に、子どもの長所を引き出し、自信を持たせる学校現場を目指してこられました。「教育は人づくり。退職後も頼ってくる教え子たちが私の財産です」とお話しされました。

危険業務従事者叙勲 横田敬史さん(北本荘)



横田さんは、兵庫県警、須磨・明石・加古川・飾磨警察署などに38年間勤務され、主に薬物事犯、銃砲事犯、風俗営業・警備業の許認可の仕事に携わってこられました。「振り返ると、危険なことが多かったのですが、法律に基づき、法律に従って組織で対応することを『基本』としてやってきました」とお話しされました。

近畿人権擁護委員連合会長表彰を 加田平 靖子さんが受賞

加田平靖子さん(西野添)は、平成16年より播磨町人権擁護委員として人権相談や、地域住民の皆さんが人権について関心がもてるような啓発活動に尽力されています。このたび、人権擁護委員としての功績が顕著であると認められ、「近畿人権擁護委員連合会長表彰」を受賞されました。



播磨ふれあいの家 だより



▶魚のつかみ取りで大はしゃぎ!

播磨ふれあいの家の前を流れる多々良木川は、夏のシーズンを迎える7月頃からチビツ子たちの黄色い声が聞こえてきます。魚のつかみ取りを楽しんで、その場で塩焼きにして食べれるんですよ!用意は全部、地元のオジサンたちがやってくれます。子ども会や小学校の野外授業などで結構気に入ってくれています。事前の予約が必要です。(20匹以上でお願いします。1匹420円) 詳しくはお電話ください。 播磨ふれあいの家より

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

わんぱくはりまっ子



たけうち りくと 竹内 陸翔くん(撮影時5ヵ月) 南大中

元気で大らかな子に育ってね!! 両親より

楽屋裏

夏休みの催しの案内を特集しました。たくさんの方の講座や体験イベントの参加者募集記事が並んでいます。よりどりみどりで、子どもたちがうらやましています。でも、子どもたちも忙しいです。すよね。予定が重なってなかなか思うように参加できないかもしれません。お友達と一緒にカレンダーと広報を広げて一つでも多く、参加申し込みをして、楽しく有意義な夏の予定を作ってくださいね。(宮)

いいね! はりま

町政レポート No.42



▲てんとう虫

窓からさわやかな初夏の風が吹き抜けていきます。衣替えの季節となりましたが、朝夕と日中の気温は、例年より差があるように感じられます。体調管理にどうぞご注意ください。

◆毎朝、登庁するとまず目をやるのが、町長室の前のテラスに育っているゴーヤの苗です。今年「公共施設の緑のカーテンプロジェクト」がスタートしました。最初、小さな規模でと思っていたのですが、ある日、テラスに企画グループの職員が大きな竹を持ち込み、あれよあれよという間に巨大な支柱が完成しました。その後、苗の植え込み、水やりの工夫、ツルの巻きつけの手助けなど忙しい仕事の合間に世話をしている姿を見ていて、何か楽しげなものを感じています。先日は職員の家の庭にいた「てんとう虫」30匹の幼虫を持ってきて苗に置き、アブラムシ退治をしているのだとか。苗の成長とともに、「わくわく」「ほのぼの」のプロジェクトです。この成長記録は町のホームページにも掲載し、更新中です。ぜひご覧いただき、一緒に収穫の日までお楽しみいただければと思います。なお、総合体育館、蓮池小学校、蓮池学童、地域連携交流施設でも実施中です。

◆今年も蛍の季節になりました。播磨ゆめづくり塾の「ふれあいエコアップ塾」や「灯足るの会」のお世話で、毎年、北公園や蓮池小学校のピオトープにたくさんの蛍が飛び、子どもたちや住民を楽しませていただいています。今年もそろそろ飛び始めたという話を聞き、6月のはじめに見に行きました。私たちが子どものころは、この町でもあちこちで蛍が飛び交っていたので、昔にタイムスリップしたようでした。みんなで豊かな自然を再生していきたいですね。

播磨町長 清水ひろ子